

篠研の国家資格日本語教員

試験対策キーワード

一問一答

2024 年度版



株式会社 篠研
SHIN ● KEN

はじめに

本書は、通信講座「篠研の日本語教育能力検定試験対策」の「チェックテスト“キーワード30”」に、若干の加筆修正を加えてまとめたもので、日本語教育能力検定試験（以下、検定試験。）全出題範囲の中から重要なキーワードを一問一答形式でまとめたものです。本書を繰り返し読み込んでいただくことによって、検定試験頻出キーワードをマスターすることができます。

なお、重要キーワードにつきましては問題が重複しているものもございます。予めご了承ください。
ぜひ、本書を最大限活用し、検定試験の合格切符を手になさってください！！

本書の使い方

⑤

①

③

②

④

チェックテスト“キーワード30” 1

【出題範囲】一般言語学／日英対照言語学／日中・日韓対照言語学／日本語の構造／品詞概論

1□ ()とは、二つ、あるいは、二つ以上の言語について、音、語彙、文法等の言語体系、さらには、それらを用いる行動である言語行動のさまざまな部分をつきあわせ、どの部分とどの部分とが相対応するか、あるいは、しないかを明らかにしようとする言語研究の一分野です。

対照言語学

「No. 002 日英対照言語学」スライド 3

- ①出題範囲を確認します。
- ②問題を解く前に、答えの部分を隠します。
- ③ ()の中に入るキーワードを考えます。
- ④わからない場合は講義資料を確認します。(通信講座会員)
- ⑤覚えたら □ にチェックを入れます。

著作権について

本書は著作権法で保護されている著作物であり、著作権は篠崎大司に属します。

著作権者の許可なく、本書の全部又は一部を紙媒体をはじめ電子媒体（インターネット）などいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った場合やその他不正行為に該当する行為を行った場合は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

④のスライドページについて

④のスライドページは2024年8月6日現在のものです。講義資料の改訂作業によりページ番号が変わることがあります。

目次

	出題範囲	P
チェックテスト“キーワード30” 1	一般言語学／日英対照言語学／日中・日韓対照言語学／日本語の構造／品詞概論	4～7
チェックテスト“キーワード30” 2	日本語史／日本語の音声／日本語の子音とその周辺／日本語のプロソディ／日本語の音声の諸現象	8～11
チェックテスト“キーワード30” 3	文字・表記の諸問題（1）／文字と表記の諸問題（2）／文字・表記の諸問題（3）／形態論概説／語彙論概説	12～15
チェックテスト“キーワード30” 4	助詞各論／動詞・形容詞各論／テンス／アスペクト／ヴォイス	16～19
チェックテスト“キーワード30” 5	モダリティ表現の諸問題（1）／モダリティ表現の諸問題（2）／モダリティ表現の諸問題（3）／その他の重要構文／複文の諸問題（1）	20～24
チェックテスト“キーワード30” 6	複文の諸問題（2）／談話文法の諸問題（1）／談話文法の諸問題（2）／日本語教育のための意味体系／日本語教育のための語用論的規範	25～29
チェックテスト“キーワード30” 7	言語の種類／言語の系統概説／世界の諸言語（1）／世界の諸言語（2）／理論言語学・応用言語学	30～33
チェックテスト“キーワード30” 8	心理言語学・認知言語学／コミュニケーション能力／日本語教師の資質・能力／日本語教育プログラムの理解と実践／教室・言語環境の設定	34～38
チェックテスト“キーワード30” 9	コースデザイン／語学教授法の変遷／さまざまな教授法（1）／さまざまな教授法（2）／さまざまな教授法（3）	39～42
チェックテスト“キーワード30” 10	教材分析・作成・開発／評価法概論／評価の実際／初級の指導法／初中級の指導法	43～46
チェックテスト“キーワード30” 11	中上級の指導法／レベル別読解指導法／レベル別聴解指導法／レベル別会話指導法／レベル別作文指導法	47～50
チェックテスト“キーワード30” 12	レベル別文型指導法／レベル別語彙指導法／レベル別文字・表記指導法／中間言語分析概論／表記・音声・語彙の中間言語分析	51～54
チェックテスト“キーワード30” 13	文法の間言語分析（1）／文法の間言語分析（2）／授業分析・自己点検能力／生活者としての外国人に対する指導法／留学生に対する指導法	55～59

チェックテスト“キーワード30”14	外国人ビジネスパーソンに対する指導法／外国人児童生徒に対する指導法／技能実習生に対する指導法／外国人看護師・介護福祉士に対する指導法／異文化間教育・多文化教育	60～64
チェックテスト“キーワード30”15	異文化コミュニケーション／コミュニケーション教育／データ処理／メディア／情報技術活用能力（リテラシー）／学習支援・促進者（ファシリテーター）の養成	65～69
チェックテスト“キーワード30”16	教育工学／著作権／予測・推測能力／談話理解／記憶・視点	71～74
チェックテスト“キーワード30”17	言語学習／習得過程（第一言語・第二言語）／中間言語／二言語併用主義（バイリンガリズム）／ストラテジー（学習方略）	75～78
チェックテスト“キーワード30”18	学習者タイプ／日本語教育と障害者教育／社会的技能・技術（スキル）／異文化受容・適応／日本語の学習・教育の情意的側面	79～83
チェックテスト“キーワード30”19	社会言語学・言語社会学／社会文化能力／言語政策と「ことば」／コミュニケーションストラテジー／敬意表現	84～87
チェックテスト“キーワード30”20	待遇表現／言語変種／言語・非言語行動／言語・文化相対主義／二言語併用主義（バイリンガリズム（政策））	88～91
チェックテスト“キーワード30”21	多文化・多言語主義／アイデンティティ（自己確認・帰属意識）／日本語教育関連機関／日本人論／日本社会の外国人	92～96
チェックテスト“キーワード30”22	日本の在留外国人施策／日本の識字教育／児童生徒の文化間移動／戦前の日本語教育（19世紀末以前）／戦中の日本語教育（19世紀～1945年）	97～101
チェックテスト“キーワード30”23	戦後の日本語教育（1945年～現在）／日本語教育と国語教育／言語政策／日本語の試験／世界と日本の日本語教育事情	102～105

チェックテスト “キーワード 30” 1

【出題範囲】 一般言語学／日英対照言語学／日中・日韓対照言語学／日本語の構造／品詞概論

1□	()とは、二つ、あるいは、二つ以上の言語について、音、語彙、文法等の言語体系、さらには、それらを用いる行動である言語行動のさまざまな部分をつきあわせ、どの部分とどの部分とが相対応するか、あるいは、しないかを明らかにしようとする言語研究の一分野です。	対照言語学	「No. 002 日英対照言語学」スライド 3
2□	母語が外国語学習に与える悪影響のことを()といいます。	母語干渉	「No. 002 日英対照言語学」スライド 3
3□	日本語は「子音+母音」という()構造を持ちます。	開音節	「No. 002 日英対照言語学」スライド 6
4□	英語は、音の強弱によって語の意味を弁別する()アクセントです。	強弱	「No. 002 日英対照言語学」スライド 6
5□	()形容詞とは、「うれしい」「悲しい」「幸せな」「楽しい」「つまらない」のように主名詞の感情を表す形容詞のことです。	感情	「No. 002 日英対照言語学」スライド 15
6□	母語の影響によって生じた言葉の使い方に関する誤用のことを()的転移と言います。	語用論	「No. 002 日英対照言語学」スライド 20
7□	中国語は4つの()を持ちます。	声調	「No. 003 日中・日韓対照言語学」スライド 3
8□	韓国語と日本語は同じ()語に属しています。	膠着	「No. 003 日中・日韓対照言語学」スライド 12